

# NEWS RELEASE

平成 22 年 5 月 21 日

市光工業株式会社

ICK1005

## 市光工業株式会社

### 本年 10 月までに神奈川県伊勢原市へ本社を移転

～管理部門と技術開発部門を中核生産拠点に集約し、  
さらなる業務効率化及び開発体制強化を図る～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：河島 一夫、以下 市光工業）は、本日開催の取締役会において、本年 10 月までに、現在品川区東五反田に所在の本社を、同社の中核製造所とテクニカルセンターのある神奈川県伊勢原市内（神奈川県伊勢原市板戸 80）へ移転することを決定しました。

市光工業では、前身となる市川製作所が 1962 年に伊勢原製造所を設立以来、同製造所を中核生産拠点と位置付けてきました。また、伊勢原には、技術開発を担うテクニカルセンターも併設されています。このたび、業務効率の向上及び技術開発体制の強化を図るため、伊勢原に本社機能を移転し、分散していた管理部門と技術開発部門を、現在同拠点に建設中の新棟に集約させることとしました。

本年 8 月末までに完成予定の新棟（通称「i-Wing」）は、地上 4 階建て、延べ床面積 11,695 m<sup>2</sup>で、本社機能のほか、自動車用ランプやミラー等、同社が扱う全ての製品の技術開発を担います。また、太陽光発電や屋上緑化、効率的な空調システム、高断熱ガラス、庇等により、CO<sub>2</sub> 排出量の低減とエネルギー効率の環境性能にも配慮されています。さらに、同拠点では、超低消費電力次世代 LED ヘッドランプの量産も予定されています。本社移転により、伊勢原には、同社従業員約 1,100 名が勤務することになる見込みです。尚、本移転は、6 月 25 日に開催される株主総会での定款の一部変更を経て、本年 10 月 1 日に完了する予定です。

市光工業では、国内外の経営資源を戦略的に配分する構造改革と、10 年後を見据えた先進技術開発の体制強化を実施しており、今後は伊勢原から世界へと、新たな成長を目指してまいります。

世界の技術光源になる

# ICHIKOH

（このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。）

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正部品専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、水銀フリーHIDヘッドランプや次世代の光源として注目されているLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2008年実績）。



新本社社屋「i-Wing」外観イメージ

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL : 03-3443-7211

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL : 03-3443-7211  
  
(株)VAインターナショナル  
田中／亀有  
TEL : 03-3499-0016  
FAX : 03-3499-0017